

『犬と猫の神経病学 各論編』 補足事項

下記の箇所に補足事項がございますので、お知らせいたします。

株式会社 緑書房

| | 該当箇所 | 元 | 補足事項（赤字） |
|-------|--|--|---|
| p.125 | 右段 下から8行目 プロトンポンプ阻害剤のオメプラゾール omeprazole についての記載 | 犬の水頭症の治療として使用する場合は、体重20 kg 以下で10 mg/head, SID, 体重20 kg 以上で20 mg/head, SID, PO が推奨されている ³⁾ 。 | 犬の水頭症の治療として使用する場合、論文上は体重20 kg 以下で10 mg/head, SID, 体重20 kg 以上で20 mg/head, SID, PO が推奨されている ³⁾ が、日本ではトイ犬種が多いため、体重20 kg 以下で一律10mg/headとせず、0.5～1mg/kgで与えたほうがよいと思われる。 |